

羊ヶ丘養護園安全委員会だより

羊ヶ丘養護園 VOL. 39
令和元年 12月17日 小野

第48回安全委員会、9周年記念集会無事終了しました

11月25日、第48回定例安全委員会と9周年記念集会を開催しました。今回の定例会議と記念集会には当園安全委員会顧問である九州大学 名誉教授 田嶋誠一先生に来ていただき、様々なことを学ぶ良い機会となりました。

第48回定例会議では暴力対応ケースを8ケース報告しましたが、うち4ケースが深刻度こそ高くないものの小学校6年生男子児童A君が振るった暴力ケースでした。そのことから、会議の中で嚴重注意の実施に関する審議がなされ、結果、嚴重注意を行う事としました。

定例会議後には9周年記念集会と記念会食を行いました。そこに当園が安全委員会を導入した当時にいた卒園生2名も参加してくれました。さらに、もう一名当日残念ながら参加することができませんでしたが、メッセージを子ども達のために送ってくれました。

卒園生からは、社会では暴力で物事を解決することは許されない行為であること、今のうちに正しく物事を解決する方法を学ぶことの重要性について話してくれました。

その後、記念会食には美味しいすき焼きと子どもたちと共に作成した今年度の安全委員会のポスターのケーキが出るサプライズもあり、子どもたちは大変喜んでいました。

嚴重注意が行われています

嚴重注意で、A君は委員より暴力を繰り返さずに言葉で相手に伝えること、そして相手が悪かったとしても暴力を振るわないよう注意を受けています。また、受け答えの態度も「うん」と答えており、「はい」と答えていなかったことについても指摘を受けました。さらに、A君は安全委員会の3つの魔法の言葉を答える事が出来ませんでした。

今回の嚴重注意で日常からの受け答えの態度や3つの魔法の言葉を全体へ周知徹底ができるようにしていこうと強く感じました。

今回、A君は頑張っているサッカー少年団のことや学校での様子を委員から評価されると共に、暴力を振るわないで頑張っていってほしい事も伝えられており、今後暴力を繰り返さないことを約束することが出来ていました。

みんなで覚えておこう！！
3つの魔法の言葉！！

- ① 叩くな口で言う
- ② 優しく言う
- ③ 相手が悪くても叩かない

田嶋先生の園内研修とケーススタディ開催！！

当園は安全委員会を導入してから10年目を迎え、導入当時にいた子ども、職員も少なくなっている状況にあります。安全委員会方式に対する理解にも差があること、10年が経過して対応自体がマンネリ化していたこともあり、再度自分たちの実践を立ち止まって振り返る必然があったことから、安全委員会の基本を学びなおすために研修会を行いました。

園内研修では、暴力問題の理解とその重要性を再度学び直した後、子ども達の希望を引き出し、職員が応援していくことで子ども自身がイキキと、そして「こうして欲しい」という相手に「注文をつけられる」力を養うことが将来的に自立していく時の力となることについても学ぶ事が出来ました。また、安全委員会方式におけるアタッチメント、嚴重注意についても学ぶ事が出来、職員にとっては大変貴重な機会となりました。

また、午後からはケーススタディをして頂き、さらに今ユニット職員が対応に苦慮している課題や今後の対応について、そして「チクった」などの言葉について、「報告した」と言いかえる方法についてもSVを行っていただきました。

田嶋先生には2日間施設に長時間いただき、様々なことを学ばせて頂きました。大変充実した2日間となりました。また、澤委員長、札幌市児童相談所塩越課長、東月寒中学校鈴木教頭先生、羊丘小学校三國校長先生、園内研修にご参加いただきありがとうございました。